

保健体育科学習指導案

日 時 令和4年1月25日(火) 5限
対 象 者 第1学年5組 40名
場 所 1年5組教室
指 導 者 蒲牟田 卓

1 単 元 現代社会と健康（新学習指導要領に於いては、安全な社会生活 ア安全な社会づくり）

2 項 目 19 交通事故の現状と要因, 21 安全な交通社会作り

3 単元目標

- (1) 事故の現状と発生要因, 安全な社会の形成, 交通安全について理解することができる。【知識及び技能】
- (2) 安全な社会生活について, 安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え, それらを表現することができる。【思考力・判断力・表現力等】
- (3) 事故の現状と発生要因, 安全な社会の形成, 交通安全について, 自他や社会の健康の保持増進や回復についての学習に主体的に取り組もうとすることができるようにする。【主体的に学習に取り組む態度】

3 単元の評価基準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①安全な社会づくりには, 環境の整備とそれに応じた取り組みが必要であることを理解することができる。	①安全な社会生活について, 安全に関する原則や概念に着目して交通事故に関する危険の予測やその回避の方法を考えているとともに, それらを表現することができる。	①安全な社会生活についての学習に主体的に取り組むことができる。
②交通事故を防止するには, 車両と特性の理解, 安全な運転や歩行など適切な行動, 自他の生命を尊重する態度, 交通環境の整備と関わっていることを理解することができる。	②交通事故及び交通違反を減らしていくために, 改善策を考え, それらを表現することができる。	
③交通事故には補償をはじめとした責任が生じることを理解することができる。		

4 本時の実際

(1) 指導区分 1/3

(2) 本時の目標

【知識及び技能】

交通事故を防止するためには、自他の生命を尊重するとともに、自分自身の心身の状態や周りの環境、車両の特性などを把握すること、及び交通環境の整備が必要であることを理解することができる。

【思考力、判断力、表現力等】

交通安全について、習得した知識を基に、事故につながる危険を予測し回避するために自他や社会の取り組み、車両特性について考察し表現することができる。

【主体的に取り組む態度】

事故の現状と発生要因、安全な社会の形成、交通安全について、自他や社会の健康の保持増進や回復についての学習に主体的に取り組もうとすることができるようにする。

(3) 学習過程

課程	時間	学習内容と学習活動	指導上の留意点及び【評価内容】	形態
導入	5	1 最近の気になるニュースについて、ペアと話す。 2 本時の学習内容について確認する。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・交通事故の現状と要因について理解する。 ・安全な交通社会づくりについて考察する。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・良い共有ができるように、話すポイントを提示する。 ・ワークシートを用いて学習をおこなっていくことを説明する。 	ペア・全体
展開	(35)	3 交通事故の現状や特徴について、グラフ等をもとに説明を聞く。 4 交通事故の3要因について理解をする。 5 危険予知トレーニング(KYT)を行い、事故を未然に防ぐためにはどのような視点で予測すれば良いかを考えることができる。 6 安全な交通社会づくりは、法のみならず、様々な観点から考えられていることを理解する。 7 交通事故・違反の改善に向けて、グループトークで考察し、発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・KYTの際は、他者の意見・視点も重要となるので、ペアでの共有をおこなう。 <p>【思考・判断・表現力等】 具体的な課題をもとにアイデアを考察しているか。(話し合い・ワークシートの観察)</p>	個人・ペア・グループ
まとめ	(5)	8 交通事故の要因について、80字以内にまとめ本時を振り返る。 9 ノートまとめ及び次時の確認を行う。	<p>【知識】交通事故の要因は、大きく3つあり、またそれらが重なり合って起こる。ことが記入されている。</p>	一斉